

店頭回収の課題認識について

2014年 8月 26日

キリン株式会社

キリンビバレッジ株式会社



店頭回収を議論の課題認識について

1. 社会システムの視点からの課題認識

① トータル回収量の増加

(市町村回収量 + 店頭回収量) > 市町村回収量

② 社会的トータルコストの低減

(店頭回収コスト + 市町村収集・選別コスト) ≤ 市町村収集・選別コスト

③ 国内資源循環量の増加

(店頭回収量 + 市町村回収国内資源循環量) > 市町村回収国内資源循環量

2. 店頭回収の特性と課題

① 消費者の排出利便性

店頭回収 > 市町村回収 → 市町村収集との棲み分け・効率化 → トータル回収量増

② 店頭回収の持続可能な体制づくり

市町村とのWIN-WINの関係づくり → 社会システム化 → 市町村との協力・連携
(市町村の回収拠点化)

- 量販企業: コスト軽減
- 市町村: コスト軽減

→ ビジネス化 → 市町村の理解・協力
(廃掃法の柔軟・特例適用)

店頭回収のPETボトル国内リサイクルへの寄与の可能性

国内リサイクルの需給アンバランス(再商品化能力 > 国内資源循環量)

高度リサイクル(B to B)での再生材の価格優位性の喪失
(再生材 > バージン材)

課題

使用済みPETボトルの需給アンバランス解消

- ① 国内資源循環量の増大
- ② 社会的コストの低減

高度リサイクル(B to B)の停滞

独自処理の国内循環化

店頭回収が上記課題の解決に貢献するためには

- ① 資源回収量の増加
- ② 国内資源循環量の増加
- ③ 社会的コストの低減

使用済みPETボトルの需給アンバランス解消

再生材の価格優位性確保

ご清聴ありがとうございました。



「飲みもの」を進化させることで、
「みんなの日常」をあたらしくしていく。

KIRIN